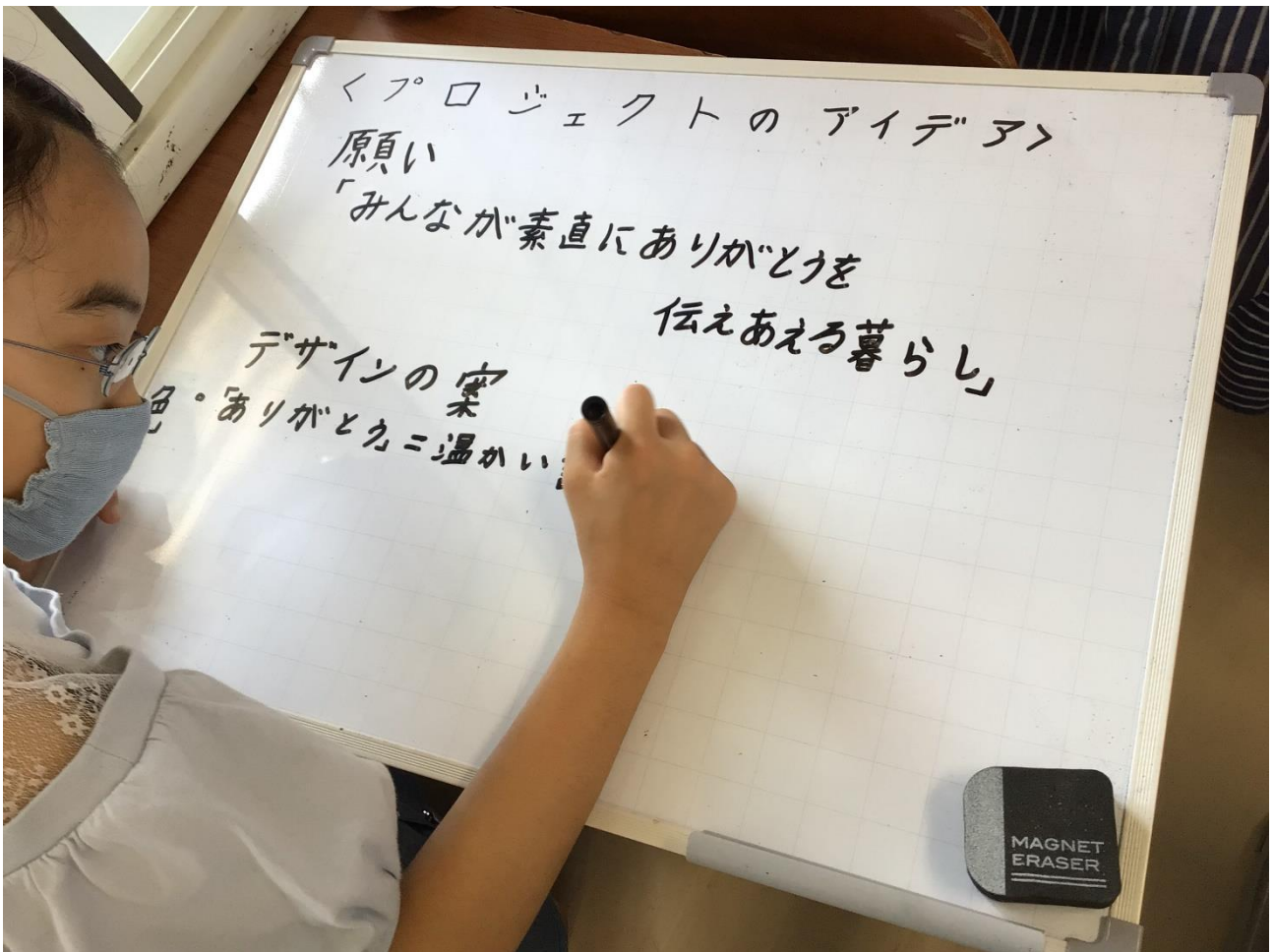


第5学年



学びのカテゴリー「暮らし」

第4学年までは、仲間や家族、動植物との関わりから命の大切さを感じ、身近で具体的な対象物を題材にして探究してきた。第5学年では、命を大切にする生き方を基にしながら、自分たちの暮らしをよりよいものにする探究的活動に取り組む。学校や家庭での暮らしを対象とすることで、一人一人が自分ごととして捉えながら、理想の暮らしを実現するためのプロジェクトを実行していく。

河合 真理
田中 雄也
上原 純

第5学年2組 年間指導計画 「学びの 카테고리」：暮らし (全105時間)

| | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------|--|----|----|----|--|--|-----|-----|-------------------------------|--|----|----|--|
| 第5学年の目標 | (1) 問題解決力に関わって 自分や周りの人の暮らしをよりよくするために、暮らしを多面的・多角的に捉えながら、願いの実現に向けて最後まで挑戦することができるようにする。 | | | | | | | | | | | | |
| | (2) 関係構築力に関わって 自分だけでなく周りの人にとってもよりよい暮らしといえるように、多様な価値観や考えを受け入れたり折り合いをつけたりしながら、人・もの・ことについての対立やジレンマを乗り越えることができるようにする。 | | | | | | | | | | | | |
| | (3) 貢献する人間性に関わって 学校の仲間や地域の方の願いを基に、よりよい暮らしのために自分にできることをやりぬこうとする態度を養う。 | | | | | | | | | | | | |
| カテゴリー設定の理由 | 第4学年までは、仲間や家族、動植物との関わりから命の大切さを感じ、身近で具体的な対象物を題材にして探究してきた。第5学年では、命を大切にする生き方を基にしながら、自分たちの暮らしをよりよいものにする探究的活動に取り組む。学校や家庭での暮らしを対象とすることで、一人一人が自分ごととして捉えながら、理想の暮らしを実現するためのプロジェクトを実行していく。 | | | | | | | | | | | | |
| 学びの基盤となる道徳的諸価値 | ○よりよい学校生活、集団生活の充実 ・克己と強い意志 ・友情、信頼 ・真理の探究 ・思いやり ・相互理解、寛容 ・自主、自律 ・家族愛、家庭生活の充実 ・社会参画 | | | | | | | | | | | | |
| 学びを構成する要素 | 生活 学校 家族 仲間 幸せ 心 環境 自然 生き物 安全 健康 生命 人 ふれあい 喜び 笑顔 感謝 自分らしさ 個性 夢 決意 | | | | | | | | | | | | |
| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
| 単元名(時数) | 「〇〇な暮らしをつくる」(48時間) | | | | 「〇〇な暮らしを広げよう」(40時間) | | | | 「よりよい暮らしをつくるために私ができること」(17時間) | | | | |
| 主な学習活動 | <p>○自分たちの暮らしを支えてくださる方の願いや仕事を知る。</p> <p>○自分たちの暮らしを支えてくださる方の願いの中で、共通していることを考える。</p> <p>○自分の理想の暮らしを考え、そのためにできることをチームで実行する。</p> <p>○他チームのプロジェクトにも協力し、「〇〇な暮らし」を目指して行動する。</p> <p>○学級内でプロジェクトを振り返り、夏休み明けの活動の計画をする。</p> <p>○個人で、探究したいことを考え、個人プロジェクト(夏休み)の計画を立てる。</p> | | | | 家 庭 の 暮 ら し を 充 ち 実 せ て 行 く で き る よ う に す る | <p>○前回の振り返りを生かし、学校・学年の仲間の暮らしがよりよくなるように、自分たちができることをチームや学級で取り組む。</p> <p>○附属小中学校の仲間や先生方の願いを知り、さらに改善を図る。</p> <p>○学校の仲間だけでなく、各家庭や地域の方の暮らしをよりよくするために、プロジェクトを計画する。</p> | | | | <p>○家族の一員としての自分の暮らしを見つめ直す。</p> <p>○家族の暮らしがよりよくなるために自分ができることを考え、実行する。</p> <p>○暮らしを支えてくれる家族や学校の先生に感謝を伝えたり、決意を語ったりする。</p> | | | |
| 想定されるエラー(■)ジレンマ(●)【道徳的諸価値】 | <p>■プロジェクトを仲間と実行しても、〇〇な暮らしになっている実感がない。</p> <p>■他チームのプロジェクトと重なり、思うようにプロジェクトが進まない。</p> <p>●プロジェクトを通して、〇〇な暮らしに向かっているが、続けることが大変だ。</p> <p>●一人一人にやりたいことがあり、チームでやりたいプロジェクトがまとまらない。</p> <p>【よりよい学校生活、集団の充実・克己と強い意志・相互理解、寛容など】</p> | | | | | <p>■学校の外の人の暮らしに対して、思うようにプロジェクトが進まない。</p> <p>●自分たちがやりたいことと附属小中学校の仲間や先生方の願いには、少しズレがあるのかもしれない。</p> <p>●誰かのために働いて、自分たちが大変な思いをするのは、本当に「〇〇な暮らし」といえるのだろうか。</p> <p>【よりよい学校生活、集団の充実・真理の探究・家庭生活の充実・社会参画など】</p> | | | | <p>■仲間と一緒にできることも、一人では難しい。</p> <p>【家族愛・家庭生活の充実・自主、自律・克己と強い意志など】</p> | | | |
| 人材活用施設 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校で働く警備員 ・学校の調理員 ・学校の養護教諭 ・学校のスクールカウンセラー | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生方 ・学校の児童生徒 ・公共施設の方 ・地域のお店の方 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者 ・ここまでに会った方 | | | |
| 教科等との関連 | <ul style="list-style-type: none"> ・国語：きいて、きいて、きいてみよう・インタビューをするとき・(話す・聞く) ・理科：魚のたんじょう 花から実へ ・算数：整数と小数 ・社会：わたしたちの生活と食料生産 ・家庭科：私と家族の仕事 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・国語：どちらを選びますか-互いの立場を明確にして、話し合おう・(話す・聞く) 統計資料の読み方-グラフや表を用いて書こう・(書く) ・算数：帯グラフと円グラフ ・社会：わたしたちの生活と環境 ・家庭科：家族ほっとタイム、やってみよう家族の仕事 | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・国語：提案しよう、言葉とわたしたち-事実と感想、意見とを区別して、説得力のある提案をしよう・(話す・聞く) | | | |

| | | | |
|---------------------------------------|---|--|--|
| 単元名 笑顔があふれる暮らしを広げよう (40) | 本単元の目標 | | |
| | 問題解決力 | 関係構築力 | 貢献する人間性 |
| | 自分や周りの人の暮らしを笑顔があふれるものにするために、暮らしを多面的・多角的に捉えながら、願いの実現に向けて最後まで挑戦することができるようにする。 | 笑顔があふれる暮らしを広げるために、多様な価値観や考えを受け入れたり、折り合いをつけたりしながら、対立やジレンマを乗り越えることができるようにする。 | 学校の仲間の願いを基に、笑顔があふれる暮らしを広げるために自分ができることをやりぬこうとする態度を養う。 |

| | | | | |
|-----------------|---|---|--|--|
| 活動の計画 | <ul style="list-style-type: none"> 第一プロジェクトを振り返り、成果と課題を共有する。 第二プロジェクトを通して、どんな暮らしを目指したいか確認する。(4) | <ul style="list-style-type: none"> 様々な人に笑顔があふれる暮らしを広げるために、自分たちのチームで何ができそうか考える。 チームに分かれて、プロジェクトを立ち上げるために、情報収集をしたり計画を立てたりする。(10) | <ul style="list-style-type: none"> お互いに協力し合って、それぞれのチームのプロジェクトを実践する。 各チームのエラー、ジレンマの解決方法を考え、改善する。 願いの達成のために、専門家にインタビューする。(18) | <ul style="list-style-type: none"> プロジェクトを振り返り、成果と課題を共有する。 これから自分自身がどんな暮らしを目指したいのかを考え、個人プロジェクトに向けて計画を立てる。(8) |
| 加筆修正欄 | | | | |
| 想定される姿 | <ul style="list-style-type: none"> 第一プロジェクトの課題をもとに、プロジェクトの改善案を考える。 自分の願いだけでなく、周りの人の思いも尊重して暮らしをつくる大切さに気付く。 学級だけでなく、学校、学年、家庭、地域の人に対しても、笑顔があふれる暮らしを広めたいと願う。 | <ul style="list-style-type: none"> 笑顔があふれる暮らしの実現に向けて、各チームでできそうなことを考え、計画する。 学校の仲間の願いを知るための方法を模索する。 調べても分からないことを学校の先生や専門家に聞きたいと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> それぞれの願いの実現に向けて、計画したプロジェクトを実践する。 自分たちの願いだけでプロジェクトを進めていないかを吟味し、改善しようとする。 | <ul style="list-style-type: none"> 自分たちの手で、笑顔があふれる暮らしをつくることのよさを感じる。 自分の願いだけではなくて、相手意識をもった行動の大切さに気付く。 これからの自分の生活で、どんな暮らしを目指したいかを考えようとする。 |
| 実際の姿 | | | | |
| エラー・ジレンマ | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>■第一プロジェクトの改善がうまくいかない。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●自分たちの願いと周りの人の願いのずれに葛藤する。</p> </div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>●笑顔があふれる暮らしを届けたいという願いと、自分の暮らしを大変なものにしたいという願いで葛藤する。</p> </div> | |

(1) 目標

運動チームのダンスイベントについて、学級の願いと学校の現状を比較し、改善案を考える活動を通して、全校の笑顔があふれる暮らしをつくりたいという願いを基に議論し、プロジェクトに参加する様々な立場の仲間の願いを大切にしながらプロジェクトを改善することができる。(問題解決力)

(2) 道徳的価値判断に関わって

自分だけでなく、学校の仲間の願いも大切にすることで、よりよい学校生活をつくるための最適解を見いだすために考え・議論する。 本時 (16/40)

| 活動内容 (○教師の発問 ・ 予想される児童の発言) | 教師の手立てと見届け | | |
|---|--|---|--|
| <p>1 ダンスイベントで運動チームが困ったことを共有する。 ○運動チームは、ダンスイベントの中でどのようなことに困っていますか。 ・思ったより参加してくれる人が少なかった。 ・楽しんで参加している人とそうでない人がいた。</p> <p>2 参加者へのインタビューをもとにダンスイベントに参加した仲間の思いを考える。 ○インタビューを聞いて、どのように感じましたか。 ・楽しいと言ってくれる人がいて、嬉しかった。 ・難しいダンスのところで困っている人がいることが分かった。 ・ダンスが得意な人だけでなく、苦手な人も楽しめるイベントにしていきたいな。</p> | <p>○運動チームが困っていることを学級全体で自分ごととして捉えられるようにするために、運動チームの児童に困っていることを問いかけ、語る場を位置付ける。</p> <p>○自分たちの活動を客観的に捉え、話合いに臨めるようにするために、前日までにダンスイベントの動画を学級全体で視聴する。</p> <p>○笑顔でダンスをすることができなかった仲間の願いを大切にできるように、学級全体で「笑顔で参加している人とそうでない人がいること」を確認し、イベントの改善方法を考える場を位置付ける。</p> | | |
| <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">今のプロジェクトは、全校の笑顔があふれる暮らしに近づいているのだろうか。</p> | | | |
| <p>3 プロジェクトが願う暮らしに近づいているか考え直す。 ○ダンスイベントは全校の笑顔があふれる暮らしに近づいているだろうか。</p> | <p>○学級の願いに立ち返って考えることができるように、「一部の人でなく、全校が笑顔になるためにはどんなことが大切だろう。」「相手のことばかり考えて、本当に自分たちも笑顔になるの。」と問い返す。</p> | | |
| <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【近づいている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをしながら、笑顔になっている仲間がいたよ。 ・ダンスをして自分も笑顔になったから、願う暮らしに近づいていると思うよ。 ・私はダンスをすることで、たくさんの人と関わり楽しむことができたよ。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【近づいていない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が笑顔になれているわけではないと思う。 ・イベントに参加してくれる人がいつも同じだから全員の笑顔には近づいていないと思う。 ・イベントの進行が気になって、自分自身が笑顔になれていないと感じる。 </td> </tr> </table> | <p>【近づいている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをしながら、笑顔になっている仲間がいたよ。 ・ダンスをして自分も笑顔になったから、願う暮らしに近づいていると思うよ。 ・私はダンスをすることで、たくさんの人と関わり楽しむことができたよ。 | <p>【近づいていない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が笑顔になれているわけではないと思う。 ・イベントに参加してくれる人がいつも同じだから全員の笑顔には近づいていないと思う。 ・イベントの進行が気になって、自分自身が笑顔になれていないと感じる。 | <p>○相手意識を大切にしている考えを価値付け、他チームのプロジェクトでも生かせるように促す。</p> <p>○それぞれのチームに分かれて、各プロジェクトを相手の立場に押し量って捉え直し、改善する場を位置付ける。</p> |
| <p>【近づいている】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスをしながら、笑顔になっている仲間がいたよ。 ・ダンスをして自分も笑顔になったから、願う暮らしに近づいていると思うよ。 ・私はダンスをすることで、たくさんの人と関わり楽しむことができたよ。 | <p>【近づいていない】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全員が笑顔になれているわけではないと思う。 ・イベントに参加してくれる人がいつも同じだから全員の笑顔には近づいていないと思う。 ・イベントの進行が気になって、自分自身が笑顔になれていないと感じる。 | | |
| <p>4 学級の願いを改めて確認し、ダンスイベントやそれぞれのプロジェクトを改善する。 ○学級の願いに近づけるために、どんなことを大切にしてイベントを改善していけばよいだろうか。 ・参加する仲間の中には、ダンスが苦手な子もいるから、その子たちの願いも大切にしたいな。 ・外部講師の○○先生が「自分たちが笑顔で踊ることを心掛けている」と言っていたから、参加者だけでなくもっと自分たちも楽しめるイベントにするとよいと思う。 ・自分たちのプロジェクトも、参加してくれる人の視点を考えて改善していけそうだ。</p> <p>5 本時の学びを振り返る。 ○自分たちのチームのプロジェクトを考え直す中で、大切だと感じたことを書きましよう。 ・はじめは、「なぜダンスイベントで笑顔になれない人がいるのだろうか。」と思ったけど、○○さんの「ダンスが苦手な人は自分の動きに自信がもてず、参加しにくいのではないか。」という言葉から、参加してくれる仲間の願いも大切にしなければいけないと感じました。また、話合いを通して自分自身が楽しむことも目指す暮らしに近づくために必要だと感じました。誰もが参加しやすいダンスにしたり、やってみたいと思えるようにダンスの魅力を発信したり、できそうなことが多くあると感じました。</p> | <p>目標に迫った姿をどのように見届けるか ダンスイベントに参加したけれど笑顔になれなかった仲間の思いを根拠にしながら、プロジェクトを改善している。(問題解決力) ・ダンスイベントの改善案を考えたり、自分のチームのプロジェクトを見直したりする場における発言内容やノートへの記述で見届ける。</p> | | |
| | <p>○振り返りを書くことに困っている児童に、「今日はどんなことを大切にして、プロジェクトを見直したの。」「どうしてそのことを大切にしたいと思ったの。」と声をかけ、考えを整理できるようにする。</p> | | |